

平成 30 年度 第 3 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 30 年 6 月 7 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 401 会議室

第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成30年6月7日（木） 午前9時30分 ～ 午前10時17分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	片山繁樹	委員
	中山由香里	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

前田正人	教育部長	山本信介	教育部次長
田路正幸	教育部次長	進藤美徳	教育総務課長
世良繁信	学校教育課長	中尾善弘	こども未来課長
西林文隆	施設整備課長	原 真弓	社会教育文化財課長
池本雅彦	学校給食センター所長	福元佳代	教育総務課副課長
石垣統久	市民協働課副課長兼スポーツ推進室長	西田征博	人権推進課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

前田委員

6 前回会議録の承認

平成30年度第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の4点について西岡教育長が報告した。

(1) 幼保一元化推進状況について

戸原、一宮北認定こども園建設工事の入札が6月6日執行され、改札の結果、戸原認定こども園に

については、八幡建設株式会社に決まった。一宮北認定こども園については、上林建設株式会社に決まった。金額等については、後ほど担当より説明する。建設工事の契約についての議案を6月議会に追加議案として上程し、工事に着手する予定となっている。

(2) 学童・あずかり保育について

城下学童保育所については、5月30日に建方工事に入ったところである。新しい施設は、夏休み前に完成予定である。学童希望者の増加に対応し、定員を30名から60名とし、適切な活動や遊びの場を提供することにより、就労する保護者を支援するとともに児童の健全な育成を図る。

(3) 学校施設整備について

ICT活用事業改善事業について、市内中学校7校の特別教室（理科室）に教師用タブレットと大型モニターを導入し、「わかりやすい授業づくり」をめざしていきたい。導入については、6月29日公告し、7月18日に開札の予定で入札の事務を進めている。

(4) 生きる力を育む豊かな心の育成について

心の教育推進事業として、生の舞台芸術を体感することにより、感性を刺激し心の豊かさを育み知・徳・体のバランスのとれた子どもたちの成長に役立てるため芸術鑑賞事業を実施している。本年度は、市内全中学生を山崎文化会館に集め、本日、兵庫県立ピッコロ劇団公演を鑑賞する。委員の皆さまも都合がつけば、視察してもらえたらと思います。

8 協議報告事項

(1) 心のふるさと校歌保存業務の実施について

資料1「心のふるさと校歌保存業務の実施について」により、進藤教育総務課長が報告した。

(2) 平成30年度兵庫県教育委員会・宍粟市教育委員会学校訪問について

資料2「平成30年度兵庫県教育委員会・宍粟市教育委員会学校訪問日程表について（予定）」により、世良学校教育課長が報告した。

(3) 戸原・一宮北認定こども園建設工事開札結果について

資料3「開札結果表」により、中尾こども未来課長が報告した。

(4) 戸原・一宮北認定こども園整備計画について

資料4「戸原こども園新築工事」、「（仮称）一宮北認定こども園園舎新築工事」により、中尾こども未来課長が報告した。

(5) 幼保一元化推進状況について

資料5「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、中尾こども未来課長が報告した。

(6) 学校給食における異物混入の状況について

資料6「平成30年度学校給食センター異物混入状況及び対策」により、池本学校給食センター所長が

報告した。

(7) 平成 30 年度宍粟市民大学予定講座について

資料 7「平成 30 年度宍粟市民大学予定講座」により、原社会教育文化財課長が報告した。

(8) 平成 30 年度宍粟市スポーツ推進委員について

資料 8「平成 30 年度宍粟市スポーツ推進委員名簿」により、石垣市民協働課副課長兼スポーツ推進室長が報告した。

(9) 平成 30 年度主な人権啓発事業と人権学習事業について

資料 9「平成 30 年度主な人権啓発事業と人権学習事業」により、西田人権推進課長が報告した。

(10) その他

第 3 子以降給食費助成制度の申請状況等について

口頭により、池本学校給食センター所長が報告した。

委員の主な意見及び事務局等の説明

(金本委員)

ちくさ認定こども園の園庭に日陰がほしいという話があるが、新しい認定こども園には、園庭に日陰を造る計画はあるのか教えてほしい。

(こども未来課長)

県緑条例で緑地帯を設ける規定があり、低木や芝生などのグリーンゾーンを計画している。シンボルツリーを設計の中で計画している。木陰については、園舎完成後に植樹を追加で考えている。

(金本委員)

今後公立こども園が開設される予定だが、ちくさ杉の子こども園は、公私連携型となっていたと思うが、市内では、ちくさ杉の子こども園だけなのか。また、公私連携型とは、どういうものなのか教えてほしい。

(こども未来課長)

公私連携型は平成 27 年に大きく改正された認定こども園法の中にある仕組みである。平成 27 年 4 月 1 日に法律が改正施行され、4 月 1 日付で兵庫県知事の認可を受けた園として、日本で初めての取組みであると紹介している。公私連携の仕組みとしては、はっきりした定義はないが、市で建設した園舎を無償で貸付する。市がオーナーとなり、運営は社会福祉法人に委託するイメージである。学校施設のため、第 3 セクターや指定管理はできないと法律で決まっている。学校設置者は、学校運営をしなければならないと、学校教育法で規定されている。こども園の設置者は社会福祉法人で、運営者も社会福祉法人であるが、遊具も含め施設全ては市所有であるので、オーナーとしての発言力を持つ。四者協議会を定期的に開くことで、地域の意見を市が吸い上げて、社会福祉法人と一緒に考えていくスタンスで、地域と一緒に歩む園づくりに取組みたいと考えている。

(金本委員)

公立と私立の職員の交流はできるのか、これからの方向性を教えてほしい。

(こども未来課長)

公立には、幼稚園 9 園、保育所が 5 所ある。質の向上ということで、計画的に職務別研修や教育研修所

事業でも幼児教育部門と位置づけて研修を行っている。研修プログラムの中で、民間と公立の交流を年に数回実施している。加えて、杉の子こども園の職員には、公立の全ての研修会に参加いただくということで、公立と同じように案内をし、公立の園と同じように研修に参加していただいている状況である。今の現状を続けることで、派遣という職員交流は終了したが、研修部分では職員交流を続けていきたいと考えている。人事交流は行わない。

(金本委員)

学校給食について、食育の教育項目を教えてください。また、給食の量や食べるペースがそれぞれちがうと思うが、給食の時間はどうなっているのか教えてください。

(西岡教育長)

食育については、6つの大きな目標に基づいている。次回、資料を提供する。

(片山委員)

食欲の面、好き嫌いの面からも色々な子どもがいる。ある程度の食べる時間の確保は現場では今までしていた。昔のような強制的に食べさせることはない。楽しく食べる中で食育を進めることは、どの教室でも行われていると思う。

(中山委員)

学校やクラス単位で違うかも知れませんが、子どもの話では、話をして楽しんで食べていい時間と、後は黙って集中して食べる時間が決まっていると話していた。

(片山委員)

給食の異物混入について、給食センターでは細かい配慮がされていると思う。山崎給食センターの報告②河東小学校の今後の対応で、学校内での混入も考えられるので、教室内での虫の飛遊がないよう注意を依頼したとあるが、これから暑くなるので、学校でも窓や入口を開放する。虫の飛遊がないように注意しても、網戸がない部分から入ってくるのを防ぐのは難しいと思う。

9 次回会議の招集について

平成30年7月12日（木）午前10時30分から開催すると決定した。

10 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前10時17分終了